



平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 協立電機株式会社

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西 雅寛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長

(氏名) 江口 和之

TEL 054-288-8888

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第1四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	7,365	1.0	204	△22.1	185	△45.2	85	△56.5
27年6月期第1四半期	7,294	7.5	262	83.0	339	124.5	196	121.3

(注) 包括利益 28年6月期第1四半期 △51百万円 (—%) 27年6月期第1四半期 277百万円 (129.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	21.35	—
27年6月期第1四半期	49.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第1四半期	21,504	8,386	37.5
27年6月期	21,521	8,571	38.2

(参考) 自己資本 28年6月期第1四半期 8,055百万円 27年6月期 8,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 6月期の連結業績予想(平成27年 7月 1日～平成28年 6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,300	0.4	470	1.0	550	△12.3	320	△17.8	79.97
通期	31,000	5.0	1,000	20.1	1,100	5.1	630	0.0	157.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年6月期1Q	4,369,200 株	27年6月期	4,369,200 株
28年6月期1Q	367,596 株	27年6月期	372,516 株
28年6月期1Q	4,000,364 株	27年6月期1Q	3,934,837 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、中国や東南アジア等の新興国経済が減速感を強める状況下、一時的に中国での人民元切下げを発端とした株価暴落の影響が世界的に株式市場や為替市場に影響を与えましたが、実体経済までは大きな影響が及ばず、国内経済に関しては緩やかながら景気回復が続く状況で推移しました。

当社グループとしては、中国、東南アジアを中心とした海外ネットワークの強みを活かし、海外での新規設備投資から発生する新規需要を取り込む等により取引は拡大傾向にあります。利益率の比較的低い取引の売上がこの四半期に集中したこと、上述のチャイナショックの影響等で為替差損や投資有価証券評価損が一時的に出たこともあり、前年同四半期と比較し増収・減益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は73億65百万円（前年同四半期比1.0%の増）となり、損益面としては、営業利益が2億4百万円（同22.1%の減）、経常利益が1億85百万円（同45.2%の減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が85百万円（同56.5%の減）となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、太陽光発電システムビジネス等で利幅が薄い大口システムビジネスが売りが上がった一方、利幅がある取引の受注残高は大きく積み上がり、その受渡は第2四半期以降にずれ込んだことから、減収・減益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は24億7百万円（前年同四半期比5.2%の減）、営業利益は1百万円（同98.5%の減）となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的情景の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第1四半期連結累計期間においてはメカトロニクス関連ビジネスや小型の計測・制御装置の取引が伸びたため、増収・増益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は49億36百万円（前年同四半期比4.2%の増）、営業利益は2億79百万円（同54.6%の増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計額は215億4百万円で、前連結会計年度末に比べ16百万円の減少となりました。これは主として現金及び預金で1億38百万円、受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせた売上債権で91百万円それぞれ増加しましたが、有価証券で1億90百万円、投資有価証券で1億5百万円減少し、減少要因が増加要因を上回ったこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が131億18百万円で、前連結会計年度末に比べ1億68百万円の増加となりました。これは主として長短借入金が3億92百万円増加し、未払法人税等の減少2億21百万円等を上回ったこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が83億86百万円で、前連結会計年度末に比べて1億85百万円の減少となりました。これは主として配当金支払額が親会社株主に帰属する四半期純利益を上回ったため、利益剰余金が54百万円減少したことと、株価下落によりその他有価証券評価差額金が1億25百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現下の世界主要国の経済情勢は、利上げが先送りされている米国経済は概して順調に推移しており、大幅な減速が不安視された中国経済も成長スピードは落としているものの金融緩和策等によりハードランディングへの懸念は遠のいたこと、東南アジア諸国も通貨安が懸念されるものの民間消費が牽引する形で緩やかな成長を続けていること等により全体的には安定して推移し、今後の世界経済は緩やかな成長が続くものと予想しております。

一方、我が国経済の足元の状況は、一部に弱い動きが見られるものの、経済全般としては緩やかながら回復基調が続いており、今後も財政支出の拡大が期待できる等から少しずつ成長率が上昇していくものと予想しております。

斯様な環境下、当社グループは十数年にわたり築き上げてきた海外子会社網等の海外展開が着実に成果を結び、重要顧客である大手製造業の海外設備投資に海外子会社を含めたグループ総合力にて積極的に関与できること、現地化が進む日系製造業各社に対してもさらなる取引の深耕が期待できること等より海外を絡めたさらに一層の取引の増加が期待できるところであります。

国内においても、従来から注力してきた半導体基板検査装置ではX線を使用した最新の検査装置等が順調に販売を伸ばしており、加えてモノとモノをインターネットで繋ぐIoT (Internet of Things) の普及が今後急速に進むものと思われ、この要素技術を土台に開発された見守りカメラ「KDLinX」も好評で今後も販売を伸張させることが期待できること、本年6月に静岡県内の企業として初めて「エネマネ事業者」として採択されたことにより、補助金対象として登録された我が社製品の拡販にも力を入れ、省エネ・環境配慮型製品も今後大きく取引を伸張させることができると考えております。

以上により、平成28年6月期の通期業績予想につきましては、平成27年8月10日の決算短信にて発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	977,436	1,115,885
受取手形及び売掛金	9,671,073	9,466,746
電子記録債権	738,534	1,033,937
有価証券	452,903	262,446
商品及び製品	401,551	455,000
仕掛品	321,278	414,088
原材料	564,506	558,993
その他	472,891	494,686
貸倒引当金	△27,997	△30,575
流動資産合計	13,572,176	13,771,209
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,693,429	4,693,429
その他(純額)	926,426	931,179
有形固定資産合計	5,619,856	5,624,609
無形固定資産	110,048	101,854
投資その他の資産		
投資有価証券	1,591,300	1,485,790
その他	686,468	579,615
貸倒引当金	△58,392	△58,357
投資その他の資産合計	2,219,376	2,007,048
固定資産合計	7,949,281	7,733,512
資産合計	21,521,458	21,504,722
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,541,358	6,640,780
電子記録債務	707,793	739,847
短期借入金	2,600,000	2,801,000
1年内返済予定の長期借入金	18,075	9,910
未払法人税等	304,168	82,670
賞与引当金	127,525	261,383
役員賞与引当金	34,650	-
その他	782,040	588,890
流動負債合計	11,115,611	11,124,481
固定負債		
長期借入金	1,100,000	1,300,000
退職給付に係る負債	184,783	187,985
その他	549,868	506,136
固定負債合計	1,834,651	1,994,122
負債合計	12,950,263	13,118,604

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,852,934	1,855,126
利益剰余金	5,158,264	5,103,805
自己株式	△458,150	△452,148
株主資本合計	7,994,489	7,948,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232,008	106,975
その他の包括利益累計額合計	232,008	106,975
非支配株主持分	344,696	330,919
純資産合計	8,571,194	8,386,118
負債純資産合計	21,521,458	21,504,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	7,294,888	7,365,585
売上原価	6,147,323	6,271,671
売上総利益	1,147,565	1,093,913
販売費及び一般管理費	885,285	889,665
営業利益	262,280	204,248
営業外収益		
受取利息	3,004	2,334
受取配当金	1,314	1,544
仕入割引	8,815	8,615
為替差益	62,390	-
貸倒引当金戻入額	1,302	-
雑収入	5,411	9,636
営業外収益合計	82,239	22,131
営業外費用		
支払利息	4,281	3,920
手形売却損	149	80
売上割引	773	765
為替差損	-	34,003
雑損失	15	1,666
営業外費用合計	5,220	40,437
経常利益	339,299	185,942
特別利益		
固定資産売却益	314	32
投資有価証券売却益	964	8,500
段階取得に係る差益	2,498	-
特別利益合計	3,777	8,533
特別損失		
固定資産除却損	136	71
固定資産売却損	-	6
投資有価証券評価損	-	32,669
特別損失合計	136	32,746
税金等調整前四半期純利益	342,940	161,729
法人税等	136,041	69,853
四半期純利益	206,898	91,875
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,591	6,450
親会社株主に帰属する四半期純利益	196,307	85,424

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	206,898	91,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70,449	△143,195
その他の包括利益合計	70,449	△143,195
四半期包括利益	277,348	△51,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	259,070	△39,607
非支配株主に係る四半期包括利益	18,277	△11,712

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,540,696	4,738,967	7,279,664	15,224	7,294,888
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,942	26,946	52,888	17,940	70,829
計	2,566,639	4,765,913	7,332,552	33,165	7,365,718
セグメント利益	130,726	181,086	311,812	21,687	333,500

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	311,812
「その他」の区分の利益	21,687
全社費用(注)	△71,219
四半期連結損益計算書の営業利益	262,280

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,407,775	4,936,175	7,343,951	21,633	7,365,585
セグメント間の内部売上高又は振替高	67,543	23,489	91,033	17,591	108,625
計	2,475,318	4,959,665	7,434,984	39,225	7,474,210
セグメント利益	1,904	279,880	281,785	31,515	313,300

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	281,785
「その他」の区分の利益	31,515
全社費用(注)	△109,052
四半期連結損益計算書の営業利益	204,248

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。